

①現庁舎及び支所を利用又は廃止するパターン（十万円以下切捨て・見込額）

パターン1
分庁方式を継続し、両支所を残す。

○現況のまま維持する場合での修繕や増築費
・約1億200万円



パターン2
分庁方式を継続し、両支所を廃止する。

○両支所を廃止した場合の毎年の維持経費の減額
・約200万円
○支所の解体費、両庁舎の修繕や増築等
・約1億600万円

パターン3 合志庁舎を本庁舎とし、西合志庁舎（御代志市民センター）を新たな支所とし、両支所も残す。

○西合志庁舎を廃止した場合での毎年の維持経費等の減額
・約800万円
○合志庁舎を本庁舎にするためや西合志庁舎を解体する経費等
・約4億6千200万円

パターン4
合志庁舎を本庁舎とし、西合志庁舎と両支所を廃止する。

○西合志庁舎と両支所を廃止した場合での、毎年の維持経費等の減額
・約1千万円
○合志庁舎を本庁舎にするためや西合志庁舎、支所を解体する経費等
・約4億6千400万円

パターン5 西合志庁舎を本庁舎とし、合志庁舎（ヴィーブル）を新たな支所とし、両支所も残す。

○合志庁舎を廃止した場合での毎年の維持経費等の減額
・約800万円
○西合志庁舎を本庁舎にするためや合志庁舎を解体する経費等
・約8億4千400万円

パターン6 西合志庁舎を本庁舎とし、合志庁舎と両支所を廃止する。

○合志庁舎と両支所を廃止した場合での毎年の維持経費等の減額
・約1千万円
○西合志庁舎を本庁舎にするためや合志庁舎、支所を解体する経費等
・約8億4千600万円

②新庁舎を建設するパターン（百万円以上は十万円以下切捨て・見込額）

パターン7
新庁舎を建設し、両庁舎を支所とし、両支所も残す。

○ヴィーブル、御代志市民センターを支所とするための改築費用等や、合志庁舎及び西合志庁舎を解体する費用
・約1億4千500万円
○職員の移動するガソリン費の毎年の減経費
・約14万円
○新庁舎建設費
・約45億9千600万円

パターン8
新庁舎を建設し、両庁舎を廃止し、両支所を残す。

○両庁舎を廃止した場合での解体費等
・約1億4千100万円
○職員の移動するガソリン費の毎年の減経費
・約81万円
○新庁舎建設費
・約45億9千600万円

パターン9
新庁舎を建設し、両庁舎、両支所とも廃止する。

○両庁舎及び両支所を廃止した場合での解体費等
・約1億4千400万円
○職員の移動するガソリン費の毎年の減経費
・約300万円
○新庁舎建設費
・約45億9千600万円

庁舎のあり方についての第2次報告書(抜粋) 9パターンを比較する



須屋支所

比較方法

第1次報告書において決めた4つの基本パターンを基にさらに9つに分け検討しています。まず、「1. 分庁方式を継続し、両支所を残す。（＝現行の分庁方式）」がどの程度経費等がかかっているのかを知ることが重要になります。

それを把握することにより、「現行の分庁方式」を継続するパターンと残りの8つのパターンにおいて、どの程度経費が高くなるのか、または安くなるのかを

比較し、検討資料とします。また、維持経費、修繕費、解体費、新庁舎建設等があるパターンについては、合併特例債期限の平成27年度を最終年度と想定し、算定することとします。

比較項目

各施設では、次の項目で1年間に係る経費及び将来予測される経費を比較しました。

1 維持管理費等
① 光熱水費 ② 燃料費
③ 維持管理業務委託費
④ 空調設備保守点検業務委託費

託費

⑤ その他の業務委託費

2 修繕費

① 空調設備修繕費

3 改築費

① 解体費

4 増築費等

② 増築費

③ 土地代

④ 造成費

⑤ 引越し費用

比較検討での課題

9つのパターンを基に、金銭的な部分での比較検討においては、金額の誤差は当然生じるものです。その理由として

- ① 光熱水費等はさまざまな状況で変化しうる。
- ② 警備管理費、空調管理費、電気管理費も施設の広さや季節の温度変化等で金額が変化する。
- ③ 改築・解体・増築費・造成費も金属の単価やその時々々の景気動向で変化する。
- ④ 土地代は、毎年の調査により変化する。

以上の理由で、確定できない部分があるので、比較する内容は実際に取り組んだ時点で当報告書の金額と差が生じることも念頭に置いておく必要があります。

左記パターン1から9の試算の詳細(抜粋)

○現施設の年間維持管理費等	
合志庁舎	28,442千円
西合志庁舎	22,288千円
泉ヶ丘支所	複合施設のため未試算
須屋支所	2,087千円

○施設を残した場合の空調等修繕費	
合志庁舎	46,160千円
西合志庁舎	14,400千円

○施設を廃止した場合の解体費	
合志庁舎	71,850千円
西合志庁舎	58,035千円
泉ヶ丘支所	複合施設のため支所のみ閉鎖し、解体はしない
須屋支所	2,010千円

○増改費	
合志庁舎	200,000千円
西合志庁舎	250,000千円

○増改築部分の維持管理費等	
合志庁舎	15,000千円
西合志庁舎	21,000千円

○庁舎及び支所間の移動におけるガソリン費	
一定期間調査して試算	

○新庁舎建設費	
6億円(土地)+3億円(造成費)+35億2千万円(建設費)+1億7千600万円(設計監理費)=45億9千600万円	

「合志市庁舎基本方針」策定に向けて

「第1次報告書」から導きだした、9つのパターンを「第2次報告書」で、具体的な金額で比較しました。ここで比較検討するために引き出した金額は、さまざまな状況で変わります。それを踏まえた上で、今後、この報告書を基に、市民の方々の意見を聞きながら、「合志市庁舎基本方針」を策定して、庁舎のあり方を決定していくものです。そのためのアンケート調査、パブリックコメント（ホームページ）、市政座談会等でのご意見、ご要望をよりしくお願いします。

これからのスケジュール(予定)

